

形容詞 <sup>かつよう</sup> の活用

(1)  に <sup>たか</sup> 「高い」の活用を <sup>かつよう</sup> <sup>か</sup> 書きましょう。

(スーパーでの <sup>おやこ</sup> 親子の <sup>かいわ</sup> 会話)

(子) 「ねえ、ママ、りんご <sup>か</sup> 買って。」

(母) 「そうね。いくらかしら？」






えっ？ これ、200円？  **い** !

これから、もっと  **なる** の  
かしら？」

(子) 「ママ、あれ、150円だよ。」

(母) 「ほんと。あれは  **ない** わね。

あれに しましょう。」

⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
<b>け</b>	<b>&lt;</b>	<b>&lt;</b>	<b>&lt;</b>	<b>か</b>	<b>い</b>	<b>い</b>	<b>い</b>	
れば 	なる 	て	ありませんでした × ありません × なかった × ない ×	たです 	た 	です 	ので から 	十 名詞
かていけい 仮定形	けい なる形	けい て形	けい ない形	けい た形	きほんけい 基本形	せつぞくけい 接続形	めいししゅうしょ 名詞修飾	

(2) いろいろな言い方を <sup>か</sup> 書いてみましょう。

① このりんごは  **い** ので <sup>か</sup> 買えない。

② このりんごは  **て** <sup>か</sup> 買えない。












③ この  **い**  は <sup>か</sup> 買えない。



(2) 形容詞「よい」と「いい」の活用について、<sup>かつよう</sup>調べてみましょう。  
しら








よい

きほんけい  
(基本形)

⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
け	<	<	<	か	い	い	い	
れば 	なる 	て	ありません  あります 	ない  なかった 	た  た 	です 	から 	十 名詞 
かていけい 仮定形	けい なる形	けい て形	けい ない形	けい た形	きほんけい 基本形	せつぞくけい 接続形	めいししゅうしょ 名詞修飾	

いい

きほんけい  
(基本形)

⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
け	<	<	<	か	い	い	い	
れば 	なる 	て	ありません  あります 	ない  なかった 	た  た 	です 	から 	十 名詞 
かていけい 仮定形	けい なる形	けい て形	けい ない形	けい た形	きほんけい 基本形	せつぞくけい 接続形	めいししゅうしょ 名詞修飾	

た

けい  
(た形)

れば

ない

けい  
(ない形)

かていけい  
(仮定形)

ので

せつぞくけい  
(接続形)

れば



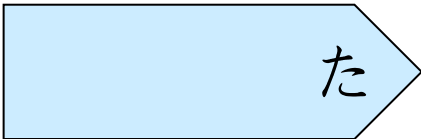
ない


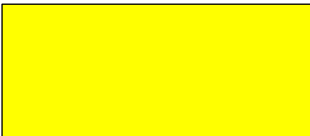

けい  
(ない形)


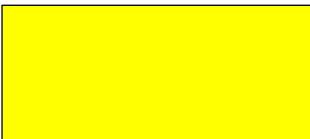
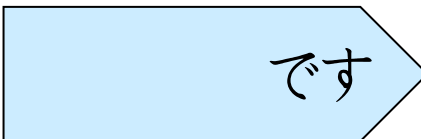
かていけい  
(仮定形)


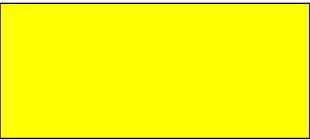

14. 形容詞の活用・問題1

けいようし                      けい   お                      か  
(1) 形容詞を「た」形(終わったかたち)に 変えましょう。

①  地<sup>じ</sup>しんは 怖い。 →  地<sup>じ</sup>しん は  た

②  亀<sup>かめ</sup>は おそい。 →  は  た





③  遊園地<sup>ゆうえんち</sup>は たの<sup>たの</sup>楽しい。 →  は  です

④  冬<sup>ふゆ</sup>は さむ<sup>さむ</sup>寒い。 →  は  です



14. 形容詞の活用・問題2

けいようし                      けい   ひてい                      か  
(1) 形容詞を「ない」形(否定のかたち)に 変えましょう。

- ①  つき                      あか  
月は 明るい。                      →                      [ ] は [ ] ない
  
- ②  ステーキは おいしい。                      →                      [ ] は [ ] なかった
  
- ③  ふじさん                      たか  
富士山は 高い。                      →                      [ ] は [ ] ありません
  
- ④  かばんは                      おも  
かばんは 重い。                      →                      [ ] は [ ] ありませんでした

形容詞 <sup>かつよう</sup> の活用

(1)  に <sup>たか</sup>「高い」の活用を <sup>か</sup>書きましょう。

(スーパーでの <sup>おやこ</sup>親子の <sup>かいわ</sup>会話)

(子)「ねえ、ママ、りんご <sup>か</sup>買って。」

(母)「そうね。いくらかしら？」

えっ？ これ、200円？  たかい !







これから、もっと  たかくなる の

かしら？」

(子)「ママ、あれ、150円だよ。」

(母)「ほんと。あれは  たかくない わね。

あれに  しましょう。」

⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
た か	た か	た か	た か	た か	た か	た か	た か
け	<	<	<	か	い	い	い
れば 	なる 	て	あり ませ ん で し た × あり ませ ん × な か っ た × な い ×	た で す 	た 	で す 	の で か ら 
かていけい 仮定形	けい なる形	けい て形	けい ない形	けい た形	きほんけい 基本形	せつぞくけい 接続形	めいししゅうしよ 名詞修飾

(2) いろいろな言い方を <sup>れんしゅう</sup>練習しましょう。












- ① このりんごは  たかい ので <sup>か</sup>買えない。
- ② このりんごは  たかくて <sup>か</sup>買えない。
- ③ この  たかい  りんご は <sup>か</sup>買えない。



(2) 形容詞「よい」と「いい」の活用について、<sup>かつよう</sup>調べてみましょう。  
しら












よい

きほんけい  
(基本形)

⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①					
よ	よ	よ	よ	よ	よ	よ	よ					
け	<	<	<	かつ	い	い	い					
れば 	なる 	て	ありません 	なかった 	ない 	た 	た 	です 	。 	の 	から 	十 名詞
かていけい 仮定形	けい なる形	けい て形	けい ない形	けい た形	きほんけい 基本形	せつぞくけい 接続形	めいししゅうしょ 名詞修飾					

いい

きほんけい  
(基本形)

⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①					
よ	よ	よ	よ	よ	い	い	い					
け	<	<	<	かつ	い	い	い					
れば 	なる 	て	ありません 	なかった 	ない 	た 	た 	です 	。 	の 	から 	十 名詞
かていけい 仮定形	けい なる形	けい て形	けい ない形	けい た形	きほんけい 基本形	せつぞくけい 接続形	めいししゅうしょ 名詞修飾					

よかつ た

けい  
(た形)

よけ れば

よく ない

けい  
(ない形)

かていけい  
(仮定形)

いい ので

せつぞくけい  
(接続形)

よけ れば


よく ない


けい  
(ない形)


かていけい  
(仮定形)


14. 形容詞の活用・問題1(解答)

けいようし けい お か  
(1) 形容詞を「た」形(終わったかたち)に 変えましょう。

①  <sup>じ</sup>地しんは <sup>こわい</sup>こわい。 → <sup>じ</sup>地しん は <sup>こわ</sup>こわかつ た

②  <sup>かめ</sup>亀は <sup>おそい</sup>おそい。 → <sup>かめ</sup>かめ は <sup>おそ</sup>おそかつ た

③  <sup>ゆうえんち</sup>遊園地は <sup>たの</sup>楽しい。 → <sup>ゆうえんち</sup>ゆうえんち は <sup>たの</sup>たのしかったです

④  <sup>ふゆ</sup>冬は <sup>さむ</sup>寒い。 → <sup>ふゆ</sup>ふゆ は <sup>さむ</sup>さむかったです

14. 形容詞の活用・問題2(解答)

けいようし  
(1) 形容詞を「ない」形(否定のかたち)に 変えましょう。  
けい ひてい か

①



つき あか  
月は 明るい。



つき  
月

は

あかるく ない

②



ステーキは おいしい。



ステーキ

は

おいしく なかった

③



ふじさん たか  
富士山は 高い。



ふじさん  
富士山

は

たかく ありません

④



かばんは おも  
重い。



かばん

は

おもく ありませんでした